

## 法・通知関係の報告（前年度の委員会開催以降） 抜粋

大阪府医療対策課感染症グループ 瀧井

### 【現時点での主な法・通知関係（平成29年7月10日現在）】

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）  
（平成28年11月7日 健感発1107第1号）
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症等に係る試験検査の実施について  
（平成29年3月28日 健感発0328第4号）
- エボラ出血熱に係る注意喚起について  
（平成29年5月13日 事務連絡）
- 「抗微生物薬適正使用の手引き 第一版」の周知について  
（平成29年6月1日 健感発0601第2号）
- クリミア・コンゴ出血熱に係る注意喚起について  
（平成29年6月22日 事務連絡）

### 【情報提供】

- 百日咳に係る届出基準等の改正
- 風しんの排除認定に向けた取り組み

## 風しんの排除認定に向けた取り組み

平成 29 年 6 月 19 日  
健康局結核感染症課

## 1. 背景

- 2020 年までに風しんの排除状態を達成することを目標としている。
- 排除状態とするためには、以下を確認し、WHO に報告する必要がある。
  - ・全ての発生事例について疫学調査を行い、輸入症例であること
  - ・8割以上遺伝子検査を行い、海外において流行している遺伝子型であること
- 排除状態が3年間継続されれば排除認定される。

## 2. 発生状況

○風しんの発生報告数は、近年急激に減少し、平成 27、28 年度においては百件台となっており、疫学調査や遺伝子検査の実施が物理的に可能な件数となった。

【発生報告数】※平成 29 年 6 月 7 日時点

年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年※
風しん	87	378	2,386	14,344	319	163	125	44
麻疹	447	439	283	229	462	35	159	164

出典：感染症発生動向調査

## 3. 課題

- 疫学調査については、指針において、「集団発生時に実施」となっていることから、平成 28 年度は集団発生がなかったことから、1 例も実施されていない。
- 遺伝子検査については、指針において「可能な限り実施」となっていることから、平成 28 年度は実施割合が 1 割に止まっている。
- 届出が「7 日以内に報告」となっていることから、仮に 7 日後に届出された場合に、遺伝子検査の時期を逸し、さらに疫学調査の開始が遅れて疫学リンクが追えなくなる恐れがある。

【現在の対応状況】

	風しん	麻疹
積極的疫学調査	<b>集団発生時に実施【指針】</b>	<b>1 例発生したら実施【指針】</b>
サーベイランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○届出【法 12① ii、則 4④】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・5 類感染症 全数把握疾患</li> <li>・7 日以内に報告【則 4④】</li> </ul> </li> <li>・患者の年齢、性別等【則 4⑥】</li> <li>○遺伝子検査【指針】 可能な限り実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○届出【法 12① i、則 4③】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・5 類感染症 全数把握疾患</li> <li>・直ちに報告（平成 27 年 5 月 21 日から）</li> <li>・患者の氏名、年齢、性別、職業、住所等【則 4①】</li> </ul> </li> <li>○遺伝子検査【指針】 原則として全例実施</li> </ul>

## 4. 対応案

- 省令、指針を改正し、麻疹と同じ位置づけとする。
- ※ 風しんの排除の確認は、麻疹排除認定会議において検討することとする。

## 百日咳に係る届出基準等の改正について(案)

平成29年6月19日  
健康局結核感染症課

### ○ 現状

- ・感染症法※に基づく5類感染症  
(定点把握疾患(小児科定点(全国約3,000カ所))
- ※ 感染症法第14条第2項、感染症法施行規則第6条第1項
- ・臨床診断により、週単位で、年齢別・性別の患者数を届出。

### 感染症発生動向調査における百日咳の発生状況(参考資料)

- ・過去30年で約10分の1に減少
- ・15歳以上の割合が増加

#### (主な課題)

- 重症化しやすいワクチン未接種の乳児の感染源となりうる成人を含む百日咳患者の発生動向が正確に把握出来ていない。
- 現行の届出基準は臨床診断によるもので、症状が類似する他疾患を含む可能性があり、報告の特異度が高くない。
- 思春期・成人層での集団感染の報告が散見されるが、現行制度では適時に把握出来ず、対応に遅延が生じる可能性がある。
- 症例の詳細(予防接種歴、重症度、転帰等)が把握出来ない。

### ○ 改正案

- 感染症法※に基づく5類感染症(全数把握疾患)とする。
- また、別添の届出基準(案)及び届出票(案)を定める。
- ※ 感染症法第12条第1項、感染症法施行規則第4条第3項

### ○ 今後の予定

- 平成29年夏 改正案に係るパブリックコメントの実施
- 平成29年秋 感染症法施行規則等の改正
- 平成30年1月 施行

## 百日咳の感染症法に基づく医師の届出基準(案)

### (1) 定義

発生動向調査においては *Bordetella pertussis* によって起こる急性の気道感染症である。

### (2) 臨床的特徴

潜伏期は通常5～10日(最大3週間程度)であり、かぜ様症状で始まるが、次第に咳が著しくなり、百日咳特有の咳が出始める。乳児(特に新生児や乳児早期)ではまれに咳が先行しない場合がある。

典型的な臨床像は顔を真っ赤にしてコンコンと激しく発作性に咳込み(スタッカート)、最後にヒューと音を立てて息を吸う発作(ウープ)となる。嘔吐や無呼吸発作(チアノーゼの有無は問わない)を伴うことがある。血液所見としては白血球数増多が認められることがある。乳児(特に新生児や乳児早期)では重症になり、肺炎、脳症を合併し、時に致死的となることがある。

ワクチン既接種の小児や成人では典型的な症状がみられず、持続する咳が所見としてみられることも多い。

### (3) 届出基準

#### ア 患者(確定例)

医師は、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から百日咳が疑われ、かつ、(4)により、百日咳患者と診断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を、7日以内に行わなければならない。ただし、検査確定例と接触があり、(2)の臨床的特徴を有する者については、必ずしも検査所見を必要としない。

#### イ 感染症死亡者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、百日咳が疑われ、かつ、(4)により、百日咳により死亡したと判断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を、7日以内に行わなければならない。

### (4) 届出のために必要な検査所見

検査方法	検査材料
分離・同定による病原体の検出	鼻腔、咽頭、気管支などから採取された検体
PCR法による病原体の遺伝子の検出	
抗体の検出 (ペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意な上昇、又は単一血清で抗体価の高値)	血清

※ PCR法はLAMP法などを含む。

百日咳発生届(案)

都道府県知事 (保健所設置市長・特別区長) 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項(同条第6項において準用する場合を含む。)の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名 \_\_\_\_\_ 印  
(署名又は記名押印のこと)

従事する病院・診療所の名称 \_\_\_\_\_

上記病院・診療所の所在地(※) \_\_\_\_\_

電話番号(※) ( ) \_\_\_\_\_

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断(検案)した者(死体)の類型	
・患者(確定例) ・感染症死亡者の死体	
2 性別	3 診断時の年齢(0歳は月齢)
男・女	歳( か月)

病 型		1 2 感染原因・感染経路・感染地域
4 症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続する咳 ・夜間の咳き込み ・呼吸苦</li> <li>・スタックート ・ウーブ ・嘔吐</li> <li>・無呼吸発作 ・チアノーゼ ・白血球数増多</li> <li>・肺炎 ・痙攣 ・脳症(急性脳炎の届出もお願いします)</li> <li>・その他( )</li> </ul>	①感染原因・感染経路(確定・推定) <ul style="list-style-type: none"> <li>1 家族内感染                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親 ・父親 ・同胞 ・祖父母</li> <li>・その他( ) ・不明</li> </ul> </li> <li>2 流行の有無                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園 ・学校 ・職場</li> <li>・その他( ) ・不明</li> </ul> </li> </ul>
5 診断方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離・同定による病原体の検出</li> <li>検体: 鼻腔スワブ・咽頭ぬぐい液・喀痰</li> <li>その他( )</li> <li>検体採取日( 月 日) 結果(陽性・陰性)</li> <li>・検体からの病原体遺伝子の検出</li> <li>検体: 鼻腔スワブ・咽頭ぬぐい液・喀痰</li> <li>その他( )</li> <li>検体採取日( 月 日) 結果(陽性・陰性)</li> <li>検査方法: PCR法・LAMP法</li> <li>・抗体の検出</li> <li>抗体の種類: 抗PT IgG ・その他( )</li> <li>結果: 単一血清で抗体価の高値</li> <li>結果( ) 検体採取日( 月 日)</li> <li>ペア血清で抗体価の有意上昇</li> <li>検体採取日(1回目 月 日 2回目 月 日)</li> <li>抗体価(1回目 2回目)</li> <li>検査方法: EIA・その他( )</li> <li>・その他の検査方法( )</li> <li>検体( )</li> <li>検体採取日( 月 日)</li> <li>結果( )</li> <li>・臨床決定: 検査確定例(ID: )との接触</li> </ul>	②感染地域(確定・推定) <ul style="list-style-type: none"> <li>1 日本国内( 都道府県 市区町村)</li> <li>2 国外( 国 詳細地域 )</li> </ul> ③百日せき含有ワクチン接種歴 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 回目 有( か月)・無・不明</li> <li>ワクチンの種類(DPT・DPT-IPV・不明)</li> <li>接種年月日(S・H 年 月 日・不明)</li> <li>製造会社/Lot番号( / ・不明)</li> <li>2 回目 有( か月)・無・不明</li> <li>ワクチンの種類(DPT・DPT-IPV・不明)</li> <li>接種年月日(S・H 年 月 日・不明)</li> <li>製造会社/Lot番号( / ・不明)</li> <li>3 回目 有( か月)・無・不明</li> <li>ワクチンの種類(DPT・DPT-IPV・不明)</li> <li>接種年月日(S・H 年 月 日・不明)</li> <li>製造会社/Lot番号( / ・不明)</li> <li>追加接種 有( 歳)・無・不明</li> <li>ワクチンの種類(DPT・DPT-IPV・不明)</li> <li>接種年月日(S・H 年 月 日・不明)</li> <li>製造会社/Lot番号( / ・不明)</li> <li>その他: 海外で成人用百日せき含有ワクチン(Tdap)の接種歴がある場合</li> <li>接種年月日(H 年 月 日・不明)</li> <li>製造会社/Lot番号( / ・不明)</li> </ul>
6 初診年月日	平成 年 月 日	
7 診断(検案(※))年月日	平成 年 月 日	
8 入院(なし)(あり)	平成 年 月 日	
9 感染したと推定される年月日	平成 年 月 日	
10 発病年月日(*)	平成 年 月 日	
11 死亡年月日(※)	平成 年 月 日	

(1, 2, 4, 5, 11 欄は該当する番号等を〇で囲み、3, 6 から 10 欄は年齢、年月日を記入すること。

(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。

(\*) 欄は、患者(確定例)を診断した場合のみ記入すること。

4, 5 欄は、該当するものすべてを記載すること。

## 平成29年度 大阪府感染症発生動向調査委員会

# 情報の還元方法について

## ① 週報の変更点と今後の改良点について

大阪健康安全基盤研究所 森ノ宮センター

大阪府感染症情報センター  
微生物部 ウイルス課

本村 和嗣

1

## 目 的

大阪感染症情報解析委員会にて、感染症の発生状況、  
動向および病原体情報を解析評価し、その結果を速やかに、  
週報として、定点医療機関、保健所、医師会および市  
町村などの関係機関へ還元する。

2

# 変更点

2017年 第20週(5月15日～5月21日)より、  
これまでの週報に、

(1)小児科定点把握感染症の動向についての表(前週の  
順位、前年当該週との比較、年齢層)

(2)全数報告の感染症(トピック、発生動向の表)

を加えた。

# 新週報

## (1) 定点把握感染症

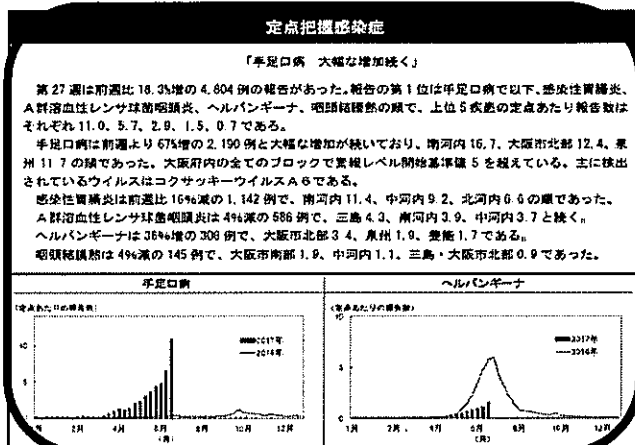
大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

未定稿  
取扱注意

2017(平成29)年 第27週(7月3日～7月9日)

今週のコメント  
～ 手足口病 ～ 警戒レベル超え続く。手洗いの励行と排泄物の適切な処理を

①



① 定点把握感染症のトピック

②

表1. 大阪府小児科定点把握感染症の動向 (2017(平成29)年 第27週 7月3日～7月9日)

第27週 の順位	第26週 の順位	感染症	2017年 第27週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2016年 第27週の 定点あたり 報告数	2017年 第27週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	2	手足口病	11	67%増	0.4	1歳_34%
2	1	感染性胃腸炎	5.7	18%減	4.9	1歳_15%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.9	4%減	2.6	5歳_15%
4	4	ヘルパンギーナ	1.5	36%増	0.8	1歳_33%
5	5	咽頭結膜熱	0.7	4%減	0.5	1歳_22%

② 定点把握感染症の表(前  
週の順位、前年 当該週の定  
点報告数、年齢別患者発生数)

# 新週報

## (2) 全数報告の感染症

第27週のコメント

～侵袭性肺炎球菌感染症～ 第27週までの累積報告数は、過去4年間で最多です

①

**全数把握感染症**

**侵袭性肺炎球菌感染症**

侵袭性肺炎球菌感染症は、感染症法上、肺炎球菌(*Streptococcus pneumoniae*)による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことという。髄膜炎、敗血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性も多く報告されている。侵袭性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。

感染症発生学センターはこちらへ(外部リンク)

感染症の経路(国立感染症研究所)

① 全数報告感染症のトピック

②

表2. 大阪府全数報告数(2017(平成29)年 第27週 7月3日-7月9日)

\*) 注意: この週報は遅延性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

1類感染症	報告はありません
2類感染症 (結核は除く)	報告はありません
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 3名 (北河内ブロック 1名、南河内ブロック 1名、 大阪市 1名、府内累積報告数 80名)
4類感染症	レジオネラ症 1名 (大阪市 1名、府内累積報告数 28名)
5類感染症 (麻疹、風しんは除く)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名 (京州ブロック 1名、府内累積報告数 62名)
	急性脳炎 1名 (大阪市 1名、府内累積報告数 22名)
	先天性免疫不全症候群 1名 (大阪市 1名、府内累積報告数 96名)
	侵袭性肺炎球菌感染症 1名 (三島ブロック 1名、府内累積報告数 157名)
	梅毒 8名 (中河内ブロック 1名、大阪市 5名、府内累積報告数 360名)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1名 (豊能ブロック 1名、府内累積報告数 16名)
結核 (2017年5月分)	総積 新登録患者数: 180名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 82名) (府内累積報告数 773名、内 肺・喀痰塗抹陽性 316名)
麻疹、風しん	報告はありません

(2017年7月11日 集計分)

② 全数報告感染症の表

5

## 新週報への御意見

### 1) 府民 A(おそらく、医療従事者)

「毎週、週報が報告されるのを楽しみにしていた。突然、週報の形が変わって、大変、驚きました。週報の形が変わって、突然、インフルエンザ定点の情報が消えており、前の形の方が良かったです。」

### 2) 府民 B(おそらく、医療従事者)

「これまでの週報では、全数報告の感染症情報がなかったので、新しい週報の方が良いです。」

6



# 問題点

## (1) 絶対的評価について

感染性胃腸炎が感染者が多いため、小児科定点把握感染症の順位で、通年、第1~2位になってしまう。

## (2) 隔年流行する感染症の評価について

手足口病やヘルパンギーナは、隔年流行のため、前年の当該週の定点報告数と比較することが、意味があるのかどうか。

## (3) 眼科定点疾患、基幹定点疾患、STDの情報還元について

## (4) 全数報告の感染症のトピック欄の記載について

7

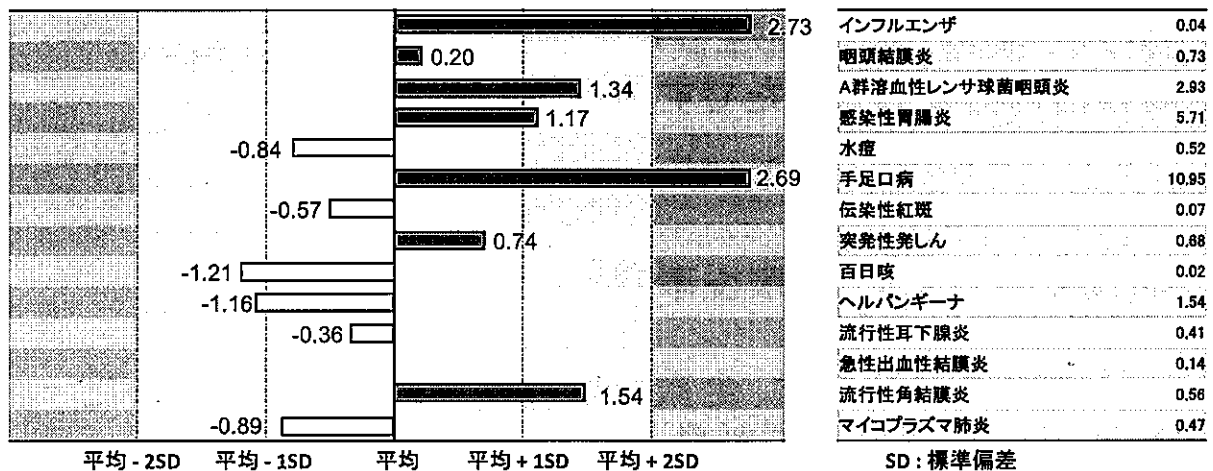
# 今後の改良点

絶対的評価とともに、包括的に感染症の発生動向を評価する

(過去5年間の同時期と比較して、という文言を追記できる)

定点把握感染症の報告の過去5年間の同時期との比較(第27週)

定点あたり報告数



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に示す

8

# 平成29年度 大阪府感染症発生動向調査委員会

## 情報の還元方法について

### ② ホームページ (HP) について

9

## 大阪府感染症情報センターのホームページ



### 大阪府感染症情報センター

今週のトピックス  
手足口病 大幅な増加見込  
麻疹 情報を更新しました。  
2017年 4月26日

#### お知らせ

平成29年5月25日(木)より、感染症発生動向調査週報の様式が変更になりました。

大阪府立公衆衛生研究所は平成29年4月1日に、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所となりました。  
(<http://www.igh.osaka.jp>)

本ページは大阪府感染症情報センターのホームページとなります。

同じような情報が  
掲載されている

#### ◆トピックス・新着情報

#### ◆感染症発生動向調査

▶【週報】今週のトピックス

▶【週報】今週のトピックス

#### ◆インフルエンザ関連情報

▶【週報】今週のトピックス

▶【週報】今週のトピックス

- ・ 一番、伝えたいmessageが、どこに掲載されているのかわからない
- ・ 同じような情報が、掲載されている

#### ◆トピックス・新着情報

update

▶【週報】HIV発生状況

▶【月報】

▶【年報】事業報告書

▶届出登録・届出様式 2016年11月21日

update

▶感染症発生動向調査 報告週刊表

▶感染症発生動向調査 フロックス

▶病原体サーベイランス 薬物の手引

2016年4月26日 update

# 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)

所在地: [ホームページ](#) > 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)



ようこそ感染症・疾病管理センターへ

通常ページへ戻る 掲載日: 2017年7月5日更新

## 新着情報

- 2017年7月12日更新 [緊急伝染病\(レプトスピラ\)](#)
  - 2017年7月7日更新 [日本伝染病学会\(前編\)の発表動向生体況](#)
  - 2017年7月7日更新 [全国における手足口病\(コクサッキーウイルス\)の発生状況](#)
  - 2017年7月7日更新 [広島県における夏期伝染病\(登革熱\)の発生状況](#)
  - 2017年7月7日更新 [緊急伝染病\(腸チフス\)の発生動向生体況](#)
- [▶ 新着情報一覧を見る](#)

## 重要なお知らせ

- ① [レプトスピラ菌の集団発生について](#)
- ② [夏広島県内における伝染病\(レプトスピラ\)の発生動向について](#)

## トピックス

### イベント案内

- ① [平成28年度 感染症情報学会\(第11回\)学生部の二部会\(主催:広島県・広島県医師会\) New!](#)
- ② [「まっすぽ感染病マースクール」の開催\(主催:特定非営利活動法人ひろしま感染症ネットワーク\) New!](#)
- ③ [「日本から長見先生\(国際感染症の歴史を学ぶのワークショップ\)の開催\(主催:広島県立国際学院\)](#)

## 現在発令している警報・注意報等発令情報です

- ① [「伝染病\(登革熱\)警報」を発令しています。\(2017.6.11発令\)](#)
- ② [「手足口病警報」を発令しました。\(2017.6.6発令\) New!](#)
- ③ [\(従来\)警報・注意報の発生基準について](#)

11

# 三重県感染症情報センターのホームページ



三重県感染症情報センター  
(Mie Infectious Disease Surveillance Center)

ホーム 感染症情報・報道発表 検査情報 感染症発生動向調査情報 予防接種 感染症ガイドブック お問い合わせ

www.kanbou.pref.mie.lg.jp/内を探索します

検索



- ★ 感染性胃腸炎に注意しましょう。
- ★ 手足口病に注意しましょう。
- ★ 夏休みの海外旅行では感染症に注意しましょう。  
夏休みにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)  
海外で健康に過ごすために(厚生労働省検疫所)

## 新着情報 ※最新情報に更新してください

- 7月18日 [三重県重症急性呼吸器症候群を更新](#)
- 7月12日 [インフルエンザウイルス分離・検出状況を更新](#)
- 7月11日 [三重県感染症発生状況2017年第27週報・感染症レック2を更新\(第28週報は7月19日\)](#)
- 7月11日 [全国感染症発生状況2017年第27週報を更新](#)
- 7月4日 [三重県感染症発生状況2017年第26週報・感染症レック2を更新\(第27週報は7月11日\)](#)
- 6月29日 [腸管出血性大腸菌\(O157\)感染症発生\(津市\)報道発表\(2017年6月29日発表\)](#)

## 注目情報

- ☐ 学校欠席者情報収集システム:一般公開情報(国と連携)※<sup>※</sup>※地図をクリックすると三重県内の詳細情報が閲覧できます
- ☐ エボラ出血熱について(厚生労働省) ☐ エボラ出血熱について(三重県健康福祉部 実務感染症対策課)
- ☐ 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について(厚生労働省)
- ☐ 耐薬菌対策ガイドライン(国立感染症研究所)
- ☐ 麻疹について(厚生労働省専用サイト)
- ☐ 中東呼吸器症候群(MERS)とは(国立感染症研究所)
- ☐ インフルエンザに関する報道発表資料(厚生労働省)

流行している感染症 (2017年度版)

気になる感染症

☐ 感染性胃腸炎

☐ 伝染病(登革熱)

12